

Q

新型コロナウイルス対策としての農業支援策はあるか

A

花卉生産農家に対して国庫補助金を活用していく

Q 新型コロナウイルスの影響で、各種イベントの中止や自粛により花卉の需要が落ち込み価格が低迷し、大幅な収入減になっている。何らかの支援策が必要と思うが。

A 3点の支援策を実施していく。1点目として「深谷市花き生産組合連合会」と「さいたまの花普及促進協議会」が、総事業費1600万円の国庫補助事業を活用し、市内の花卉生産者から購入した花卉で公共施設や市内事業所等に花を飾る取組に対して支援を行う。2点目として市内の生花店17店舗において千円以上の花卉を購入した人に対し、地域通貨ネギーカード300円分のキャッシュバックを行っている。3点目として市議会議員と市職員を対象として「深谷ゆり」の幹旋販売を実施する。

「アグリテックビジネスコンテスト」の結果は―

Q 昨年最優秀賞を受賞した2つの企業とはどんな企業なのか。



馬場 茂

スマホはこちらから



Q

経済復興にプレミアム付き商品券発行事業を行うのか

A

年内、秋口以降の実施に向けて内容を検討していく

Q 利用できる店舗の募集など相当な準備期間が必要だが、プレミアム率も含め、いつ発表するのか。

薬も宅配される時代となり、宅配ボックスの果たす役割は非常に有効と考え、物流業者や製造業者と協力し、実証実験の実施に向け動いていく考えはあるか。

「遠隔手話サービスができないか」

A 地域課題の解決に際し、民間との協働は有効であることから、支援・協働を踏まえて検討していく。

「宅配ボックス設置支援が有効だが」

Q 新しい生活様式支援策として、宅配への非対面型受渡しが、感染予防となり、再配達を減らせることで、環境にも良いと思うが設置費補助金創設について見解を聞く。

A 宅配ボックス設置補助については、他の感染症対策の中での優先度や製造業者、物流業者の取組状況等を踏まえ調査、研究していく。



清水 健一

スマホはこちらから



Q

電子プレミアム商品券発行事業を推進すべきである

A

地域通貨ネギーを活用し、実施していく

三田部 恒明

スマホはこちらから



Q 新型コロナウイルス感染症対策において市内経済再生・消費喚起策として電子プレミアム商品券発行事業推進を図るべきである。地方創生臨時交付金が2兆円拡充され一部プレミアム分として活用し、電子決済推進という国の政策にも沿い、昨年の実証実験の経験値もいかなる。

A 地域通貨ネギーを活用し、年内秋口以降に実施していく。発行の規模、販売方法、利用方法など、今後詳細を詰めていく。

「家計を支える支援制度」

Q 失業給付、休業手当、雇用調整助成等の助成対象外の方々に対し、パート等に新規に就くまでの期間における助成制度の検討及び緊急雇用創出事業が組めないか。

A 対象者を絞り込む事の難しさ等もあり、国の動向を注視し、必要性も含め研究する。雇用創出については33名の方を期間限定で採用した。緊急雇用については事務従事拡大も含め、今後の状況により検討する。

Q

新型コロナウイルスでの負担増軽減のため給食費の無償化を

A

夏休みを短縮し、給食を提供するので難しい

鈴木 三男

スマホはこちらから



Q 新型コロナウイルス対策で学校が臨時休校した。臨時休校中の昼食代など家計費の負担が増加したので家計費軽減のため、小・中学校の給食費を無償化する考えはないか。

A 県内で給食費の無償化を実施しているのは、15市町村で28%。新型コロナウイルス対策に伴う臨時休校で、子どもたちの昼食代が家計の負担になっているが、今年度は、夏休みを短縮する予定で、その間給食を提供するため、家計負担が軽減される。また、臨時休校となった2カ月間の給食費を無償化すると約9千7百万円の財源が必要で現状では難しい。

「サーマルカメラ貸出の考えは」

Q 新型コロナウイルス感染防止のため、今後どのような対策を考えているのか。

A 施設の状況に応じサーマルカメラも導入し徹底した防止策を行う。

Q サーマルカメラの貸出は。まず、公共施設に設置する。

ハンディ型のサーマルカメラ



ドーム型のサーマルカメラ



サーマルカメラのカタログより掲載

「人材マッチング支援の構築を」

Q アルバイト・パートの雇止め・解雇等の状況があり、商工会議所、商工会、JA、ハローワーク等と連携し、支援の構築ができないか。

A ハローワークにおいて農業も含めた求職・求人のマッチングと、民間事業者の人材派遣などもある。これまで実施してきた取組・制度を継続し関係団体との連携をさらに充実し、今後の就業支援を行っていく。



去年の実証実験のチラシより掲載